Information Only

インドネシア　アウトルック

2016年5月

Global Advisory Department

LEAD THE VALUE

SMBC

三井住友銀行
グローバル・アドバイザリー部

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、一般に信頼できると思われるデータに基づき作成致しておりますが、その信憑性・正確性を保証するものではありません。また、本資料はお客さまの参考資料の目的でのみご利用いただきたく、お客さま及びお客さま担当会計士・税理士・弁護士等の専門家以外の法人・個人に対して本資料の全部もしくは一部の引用、複写、転送、開示をされることは、ご遠慮いただきますようお願い致します。最後のページに当資料の利用に関する留意点を掲載しています。

インドネシアの概要

Information Only

- ◆ 世界4位の人口を有する大国。その大半はイスラム教徒。
- ◆ ジョコ・ウィドドを大統領とする政権が2014年10月に発足。

国名	インドネシア共和国 （Republic of Indonesia）
面積	189万平方キロメートル （日本の約5倍　/ 世界 15位）
人口	2.6億人（2015年） （世界 4位）
名目GDP	8,590億ドル（2015年） タイ　　：3,953億ドル（2015年） マレーシア　：2,962億ドル（2015年） シンガポール　：2,927億ドル（2015年）
首都	ジャカルタ　997万人（2013年）
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教(88.1%)、キリスト教（9.3%)、 ヒンズー教(1.8%)、仏教(0.6%)、 儒教(0.1%)、その他(0.1%)
政体	大統領制、共和制
元首(大統領)	ジョコ・ウィドド大統領 （2014年10月20日就任、任期5年）
議会	国民協議会（MPR） （1）国会（DPR）：定数560名（任期5年） （2）地方代表議会(DPD)：定数132名 （任期5年）

（出所）外務省「インドネシア共和国」、IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

インドネシアの魅力

Information Only

◆ ASEAN地域で最大の人口規模と急速な経済発展によって巨大な消費市場を形成。

◆ 世界各国と貿易関係を構築し、日本との関係も良好。

1. 巨大な消費市場

（1） ASEAN1位、世界4位の人口規模。
（2） 安定した経済成長率（2015年実質GDP成長率：4.8%）に支えられ、消費市場は堅調に拡大。
（3） 2020年には中間層・富裕層世帯人口が約1.9億人（総人口の約7割）に達する見込み。

2. 豊富な天然資源

（1） スズや石炭、天然ガスなどの鉱物資源が豊富。
（2） パーム油や天然ゴムなどの農産物資源産出量が世界トップクラス。

3. 豊富な労働力の生産拠点

（1） 生産年齢人口の割合が高い人口ボーナス期が2040年頃まで継続。
（2） ただし最近では賃金の高騰が進出企業の労働力確保の上での課題。

4. 進む日本からの投資

（1） 日本から1,000社以上の企業が進出。
二輪・四輪関連企業に加えて、小売や食品関連企業なども含めた幅広い業種が進出。
（2） 日本からの海外直接投資額は堅調に推移。

＜トピックス＞進むインフラの整備

- 2015年1月に「新国家中期開発計画（2015-2019年）」を発表。今後5年間で50兆円規模のインフラ開発を計画。
- 計画は、出力計35GWの新規電源開発や24の新港・15の空港の新設、1,000kmの高速道路建設、3,300kmの鉄道建設、14の工業団地新設など多岐に渡っている。

（出所）IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」、Euromonitor International「Passport」、USGS「Mineral Commodity Summaries 2016」、FAO「FAOSTAT」、国際連合「World Population Prospect 2015年版」、各種報道資料

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

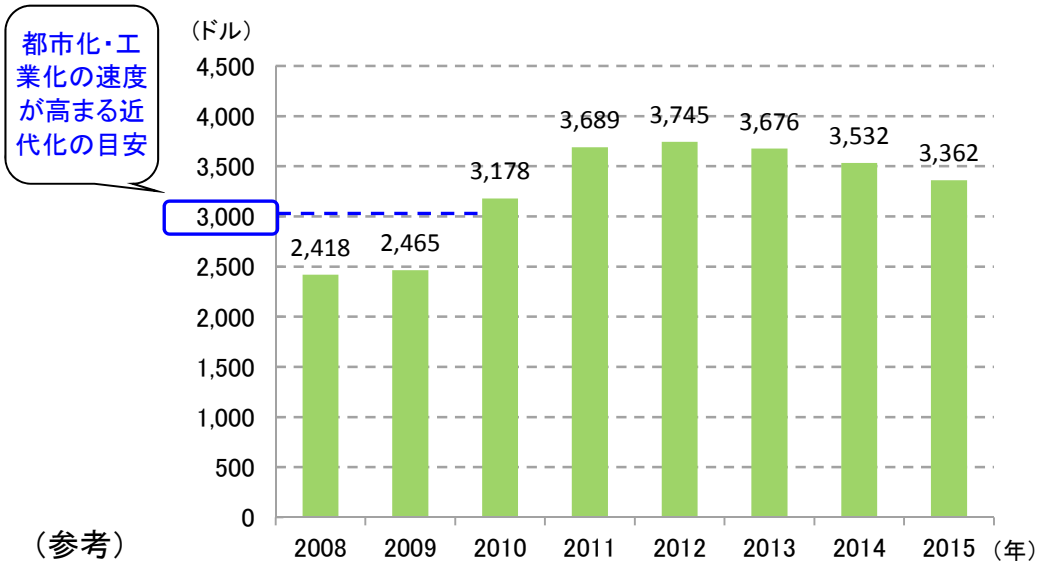
巨大な消費市場

Information Only

◆ 1人当たりGDPは3千ドルを超え、国内消費市場は本格的に活発化。

◆ 2020年には中間層以上の人口が約1.9億人に達する巨大消費市場へと成長。

1人当たりGDP額の推移

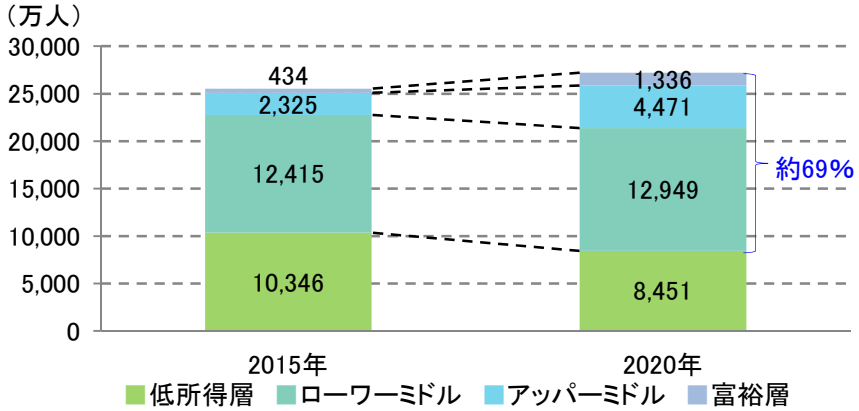


（参考）

実質GDP成長率（%）	7.4	4.7	6.4	6.2	6.0	5.6	5.0	4.8

（出所）IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

所得層別人口の推移



		世帯年間可処分所得
富裕層		35,000ドル以上
中間層	アッパーミドル	15,000ドル以上～35,000ドル未満
	ローワーミドル	5,000ドル以上～15,000ドル未満
低所得層		5,000ドル未満

（出所）Euromonitor International「Passport」、IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

（注1）富裕層／中間層／低所得層の定義は、経済産業省「平成25年版通商白書」に基づく。

（注2）世帯可処分所得別の家計人口を各所得層の家計比率×人口で算出。

1人当たりGDPは3千ドルを超えて推移

2020年には人口の約7割が中間層以上

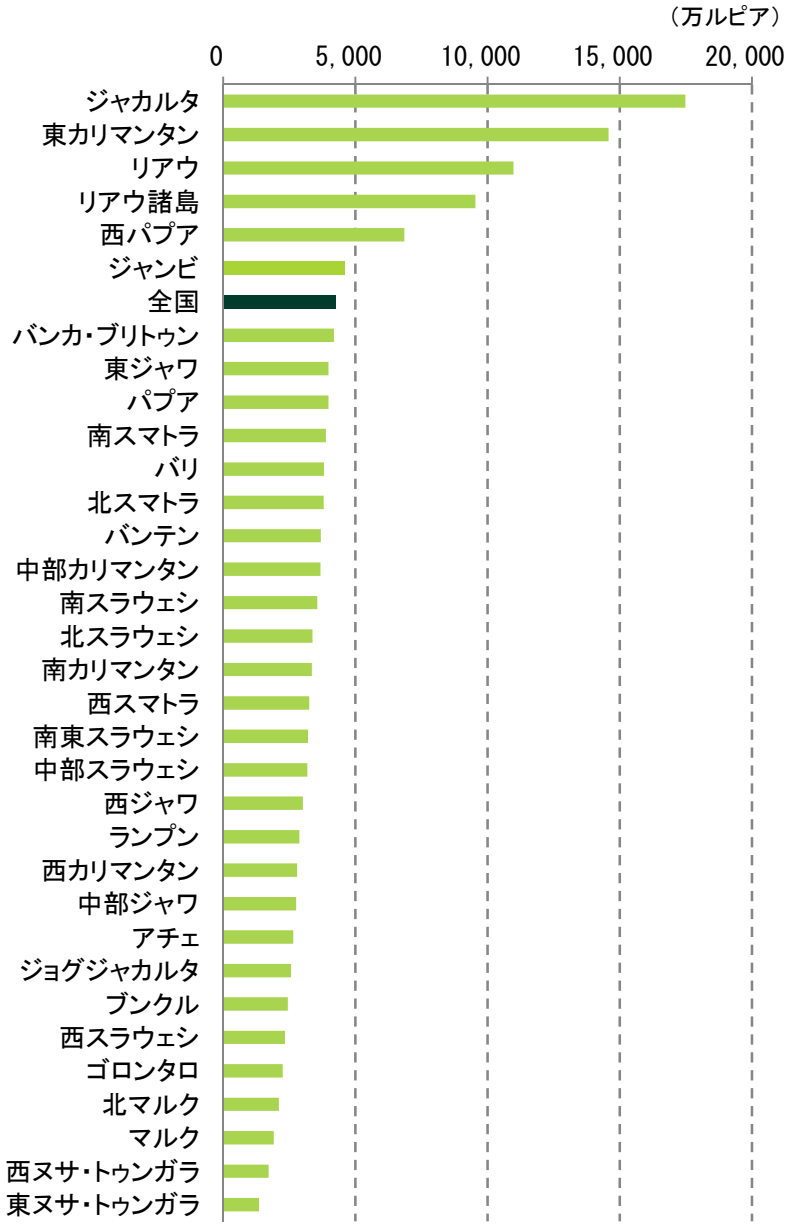
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

（ご参考）消費市場に関する参考データ

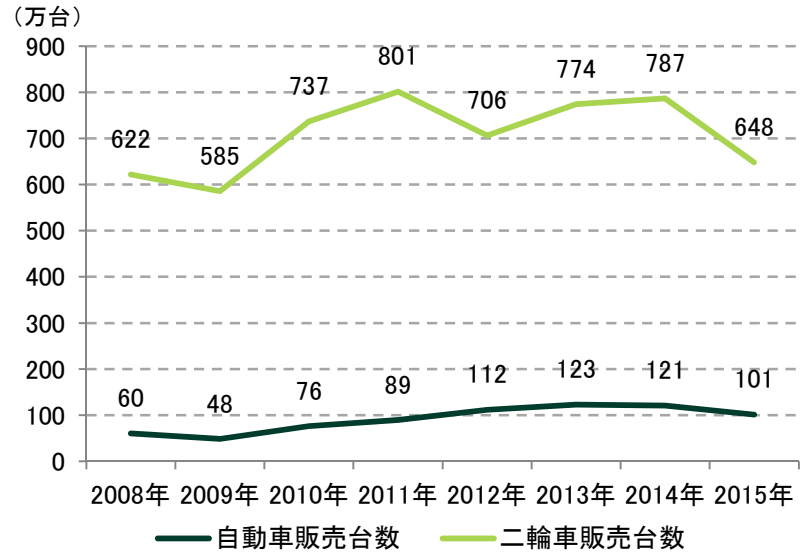
Information Only

州別1人当たり名目GDP（2014年）



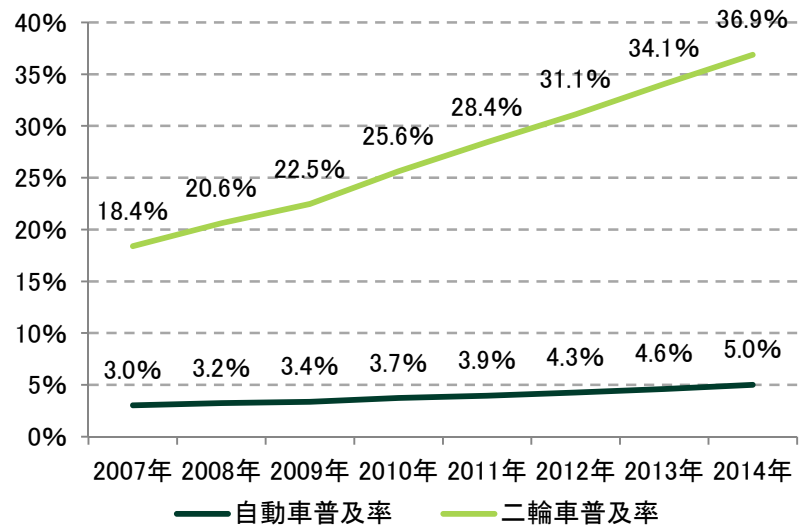
（出所）インドネシア中央統計庁「Statistical Yearbook of Indonesia 2015 」

自動車・二輪販売台数の推移



（出所）インドネシア自動車工業会ウェブサイト、インドネシア二輪協会ウェブサイト

自動車・二輪車普及率



（出所）インドネシア中央統計庁統計庁「Statistical Yearbook of Indonesia 2015」、IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

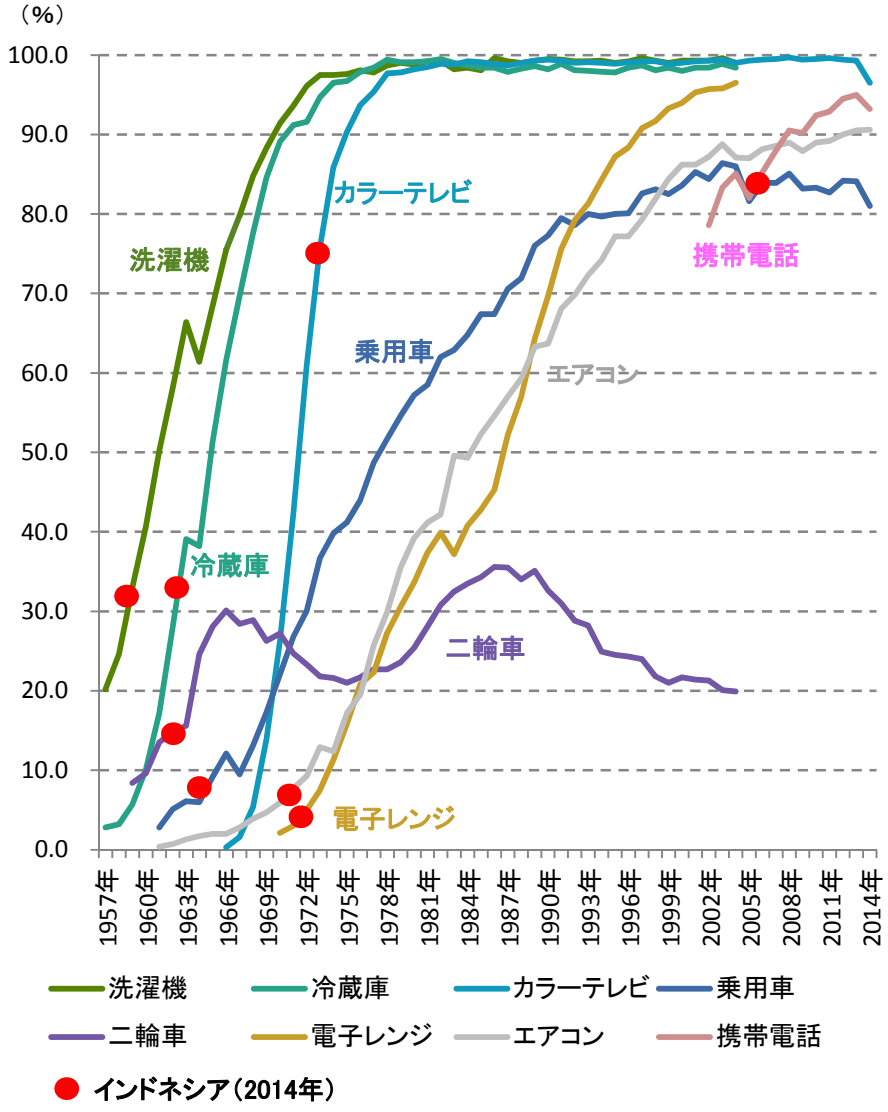
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

（ご参考）耐久消費財普及率

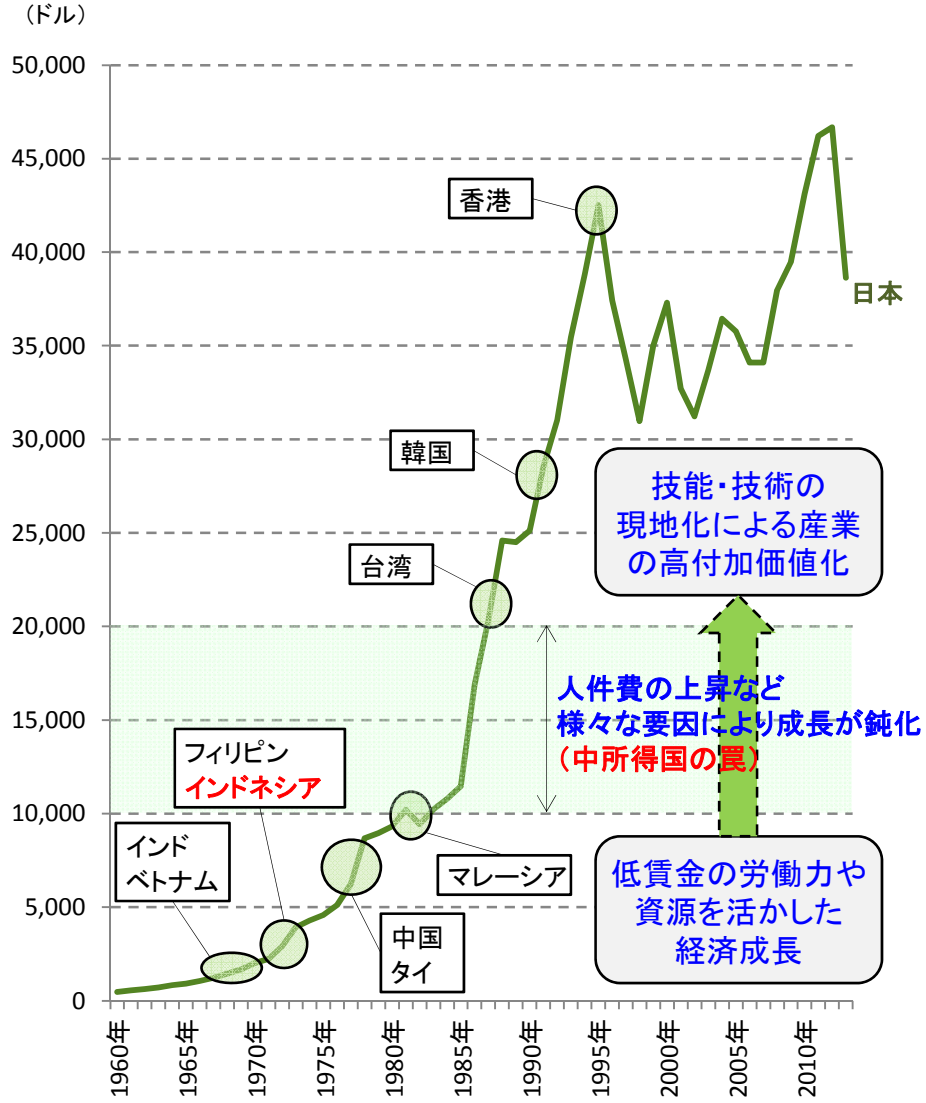
Information Only

日本とインドネシア（2014年時点）の耐久消費財普及率の比較



（出所）内閣府「消費動向調査」、Euromonitor International「Passport」

日本とアジア諸国（2015年時点）の1人当たりGDP額の比較



（出所）IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

豊富な天然資源

Information Only

◆ スズや天然ゴムなど様々な資源の産出量は世界トップクラス。
◆ 石油に代わり天然ガスを中心としたエネルギー資源の産出が経済を下支え。

インドネシアの代表的な資源

■スズ （2014年）

順位	国名	生産量（千トン）
1	中国	96
2	インドネシア	76
3	ミャンマー	25
4	ペルー	23
5	ボリビア	15

■石炭 （2014年）

順位	国名	生産量（百万トン）
1	中国	3,874
2	米国	907
3	インド	644
4	オーストラリア	491
5	インドネシア	458

■天然ゴム（2013年）

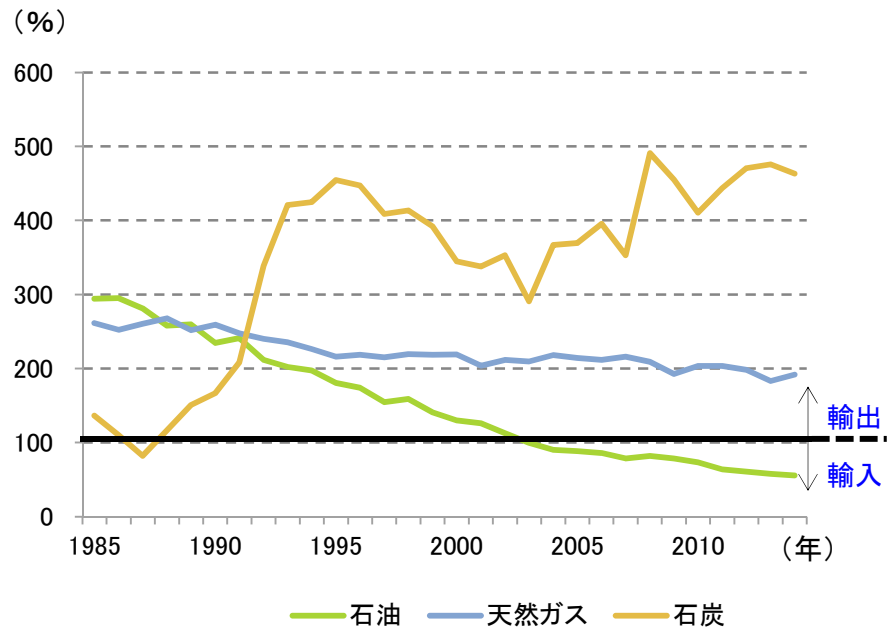
順位	国名	生産量（千トン）
1	タイ	3,863
2	インドネシア	3,108
3	ベトナム	949

■パーム油（2013年）

順位	国名	生産量（千トン）
1	インドネシア	26,896
2	マレーシア	19,217
3	タイ	1,970

（出所）BP「Statistical Review of World Energy 2015 」、
USGS「Mineral Commodity Summaries 2016 」、FAO「FAOSTAT」

石油・天然ガス・石炭の自給率



（出所）BP「Statistical Review of World Energy 2015」
（注）自給率＝国内生産量÷国内消費量として計算

世界トップクラスの産出量

豊富な資源が経済を下支え

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

（ご参考）天然資源に関する参考データ

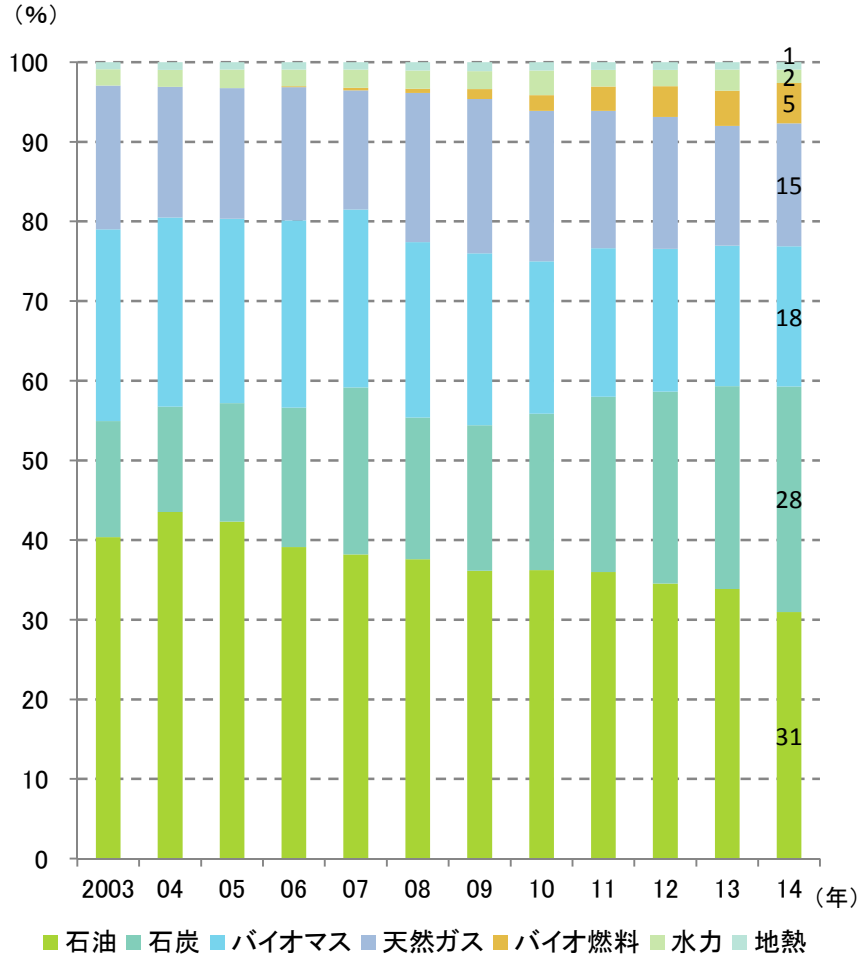
Information Only

インドネシアの主要鉱物資源生産量

鉱物資源	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
スズ鉱石（注1）〔トン〕	97,796	89,600	44,202	59,412	51,997
ボーキサイト〔千トン〕	2,200	24,715	31,443	57,024	2,556
ニッケル鉱石（注2）〔千トン〕	5,973	15,973	48,449	11,628	1,387
金〔キログラム〕	106,316	76,763	69,291	59,804	69,033
銅精鉱〔千トン〕	3,467	2,236	2,385	2,106	1,571

（出所）インドネシア中央統計庁「Statistical Yearbook of Indonesia 2015」
（注1）政府は2013年8月より海外に輸出する精錬スズについては国内取引所での売買を義務付ける規制を実施。2015年8月も新規制が導入され輸出量の減少が見込まれている。
（注2）2014年1月より、国内での製錬所建設促進を目的としてニッケル鉱石等の輸出禁止措置を発動。世界的なニッケル価格の高騰を引き起こしている。

インドネシアの一次エネルギー供給源別割合推移



（出所）インドネシアエネルギー鉱物資源省「Handbook of Energy & Economic Statistics of Indonesia 2015」

（注3）インドネシア政府は貿易相規定2015年第4号において、2015年4月1日から「鉱物、石炭、石油・天然ガス、パーム油」の4品目の輸出時に信用状（L/C）の使用を義務化することを発表した。その後、貿易相規定2015年第26号において、輸出業者がL/C利用延期を貿易相に申請すれば、貿易相は各品目に関係する大臣の見解を得た上でL/C利用延期を承認することが出来ることとなっている。

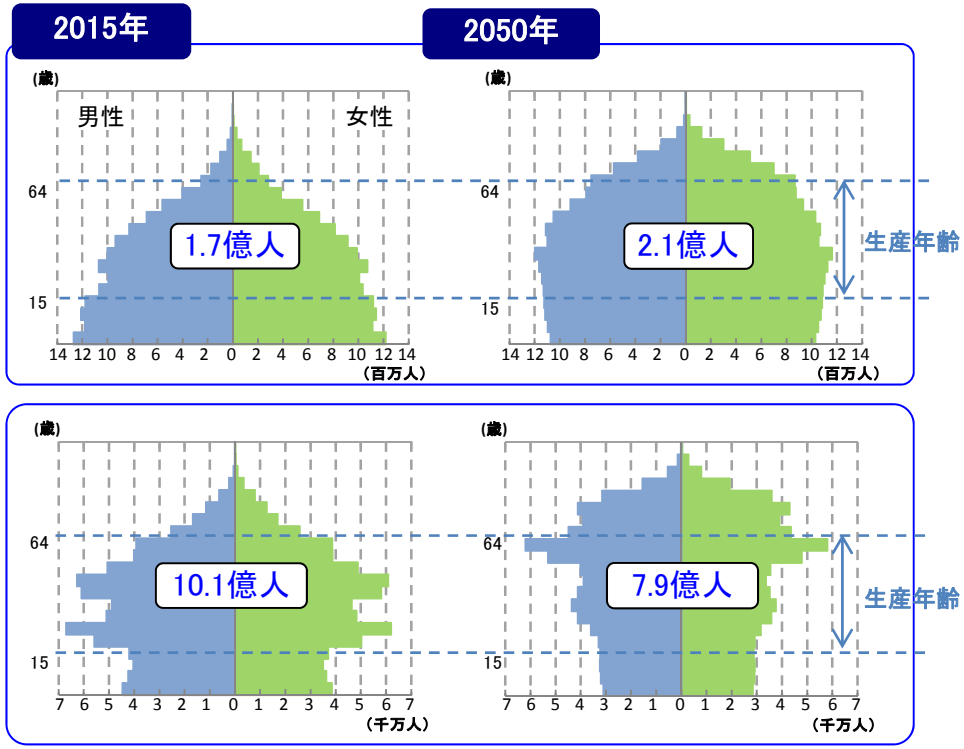
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

豊富な労働力を有する生産拠点

Information Only

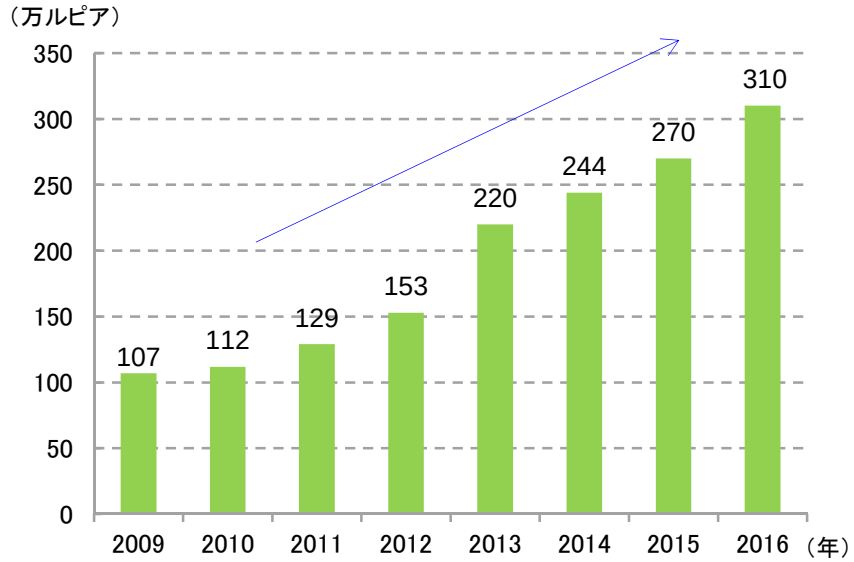
- ◆ 生産年齢人口は堅調に増加し、2050年には2.1億人に到達。
- ◆ 一方で、経済成長に伴う賃金水準の高騰が進出企業の労働力確保の上での今後の課題。

人口分布推移



(出所)国際連合「World Population Prospect 2015年版」

首都ジャカルタの最低賃金額(月額)の推移



上昇率(%)	10.0	4.5	15.4	18.5	43.9	11.0	10.6	14.8

(出所)CEIC

生産年齢人口は今後も増加

今後は賃金の高騰が進出企業の課題

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

（ご参考）労働力に関するデータ

Information Only

州別最低賃金（月額）

	州名		最低賃金（単位：ルピア）		
			2015年	2016年	前年比
1	Nanggroe Aceh Darusalam	アチェ	1,900,000	2,118,500	112%
2	Sumatera Utara	北スマトラ	1,625,000	1,811,875	112%
3	Sumatera Barat	西スマトラ	1,615,000	1,800,725	112%
4	Riau	リアウ	1,878,000	2,095,000	112%
5	Kepulauan Riau	リアウ諸島	1,954,000	2,178,170	111%
6	Jambi	ジャンビ	1,710,000	1,906,650	112%
7	Sumatera Selatan	南スマトラ	1,974,346	2,206,000	112%
8	Bangka Belitung	バンカ・ブリトゥン	2,100,000	2,341,500	112%
9	Bengkulu	ブンクル	1,500,000	1,605,000	107%
10	Lampung	ランプン	1,581,000	1,763,000	112%
11	Jawa Barat	西ジャワ	1,177,000	2,250,000	191%
12	DKI Jakarta	ジャカルタ	2,700,000	3,100,000	115%
13	Banten	バンテン	1,600,000	1,784,000	112%
14	Jawa Tengah	中部ジャワ	1,100,000	1,293,000	118%
15	Yogyakarta	ジョグジャカルタ	1,108,249	1,235,700	112%
16	Jawa Timur	東ジャワ	1,150,000	1,283,000	112%
17	Bali	バリ	1,621,172	1,807,600	111%

	州名		最低賃金（単位：ルピア）		
			2015年	2016年	前年比
18	Nusa Tenggara Barat	西ヌサ・トゥンガラ	1,330,000	1,482,950	112%
19	Nusa Tenggara Timur	東ヌサ・トゥンガラ	1,250,000	1,425,000	114%
20	Kalimantan Barat	西カリマンタン	1,560,000	1,739,400	112%
21	Kalimantan Selatan	南カリマンタン	1,870,000	2,085,050	112%
22	Kalimantan Tengah	中部カリマンタン	1,896,367	2,057,558	108%
23	Kalimantan Timur	東カリマンタン	2,026,126	2,161,253	107%
24	Kalimantan Utara	北カリマンタン	－	2,175,340	－
25	Maluku	マルク	1,650,000	1,775,000	108%
26	Maluku Utara	北マルク	1,577,617	1,681,266	107%
27	Gorontalo	ゴロンタロ	1,600,000	1,875,000	117%
28	Sulawesi Utara	北スラウェシ	2,150,000	2,400,000	112%
29	Sulawesi Tenggara	南東スラウェシ	1,652,000	1,850,000	112%
30	Sulawesi Tengah	中部スラウェシ	1,500,000	1,670,000	111%
31	Sulawesi Selatan	南スラウェシ	2,000,000	2,250,000	113%
32	Sulawesi Barat	西スラウェシ	1,655,500	1,864,000	113%
33	Papua	パプア	2,193,000	2,435,000	111%
34	Papua Barat	西パプア	2,015,000	2,237,000	111%
全国平均（注1）			1,697,183	1,953,844	113%

（出所）インドネシア労働移住省ウェブサイト、CEIC、インドネシア中央統計庁「Statistical Yearbook of Indonesia 2015」
（注1）全国平均は各州最低賃金の州人口による加重平均値

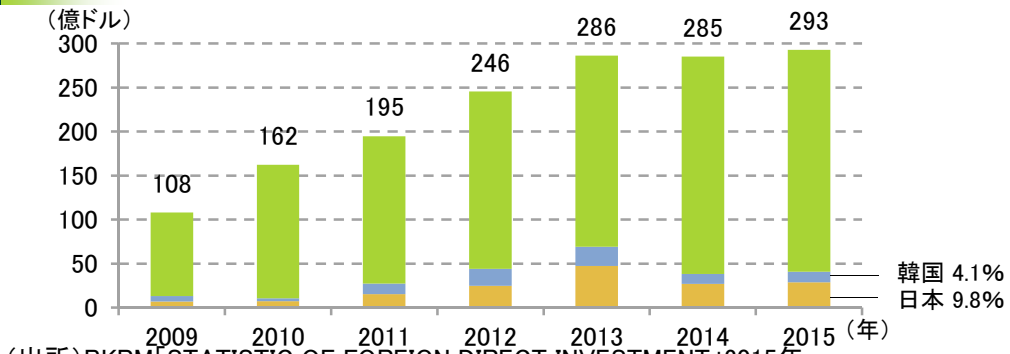
Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

進む日本からの投資

Information Only

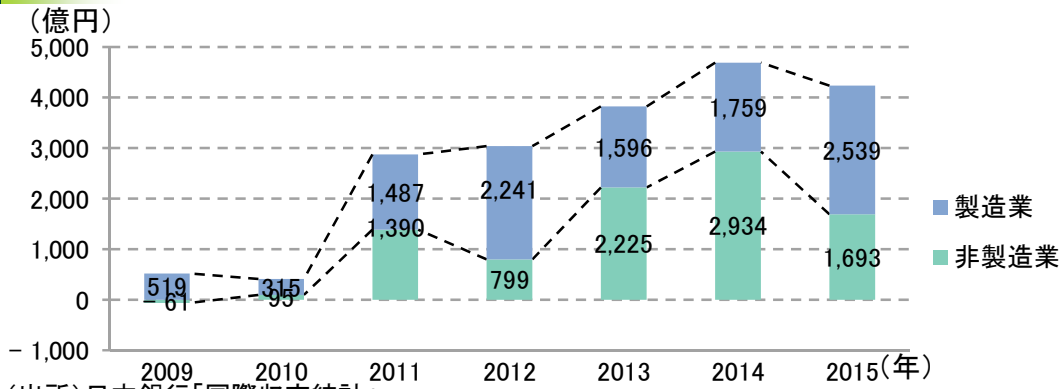
- ◆ 対内直接投資額は順調に増加。
- ◆ 日本からは、輸送機械器具をはじめとした幅広い業種へ投資。

対内直接投資の推移および国別内訳（実行ベース）



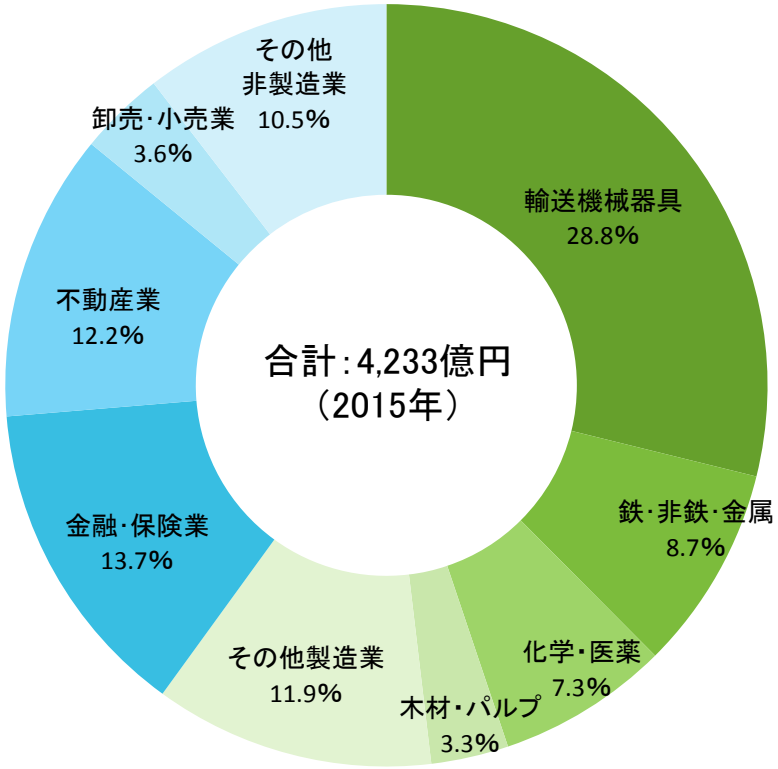
（出所）BKPM「STATISTIC OF FOREIGN DIRECT INVESTMENT」2015年

日本からインドネシアへの直接投資（業種別）の推移



（出所）日本銀行「国際収支統計」
（注）マイナスは対外直接投資の引き揚げを示す

日本からインドネシアへの直接投資の業種別割合（2015年）



（出所）日本銀行「国際収支統計」

日本からの投資は堅調に推移

日本から様々な業種へ進出

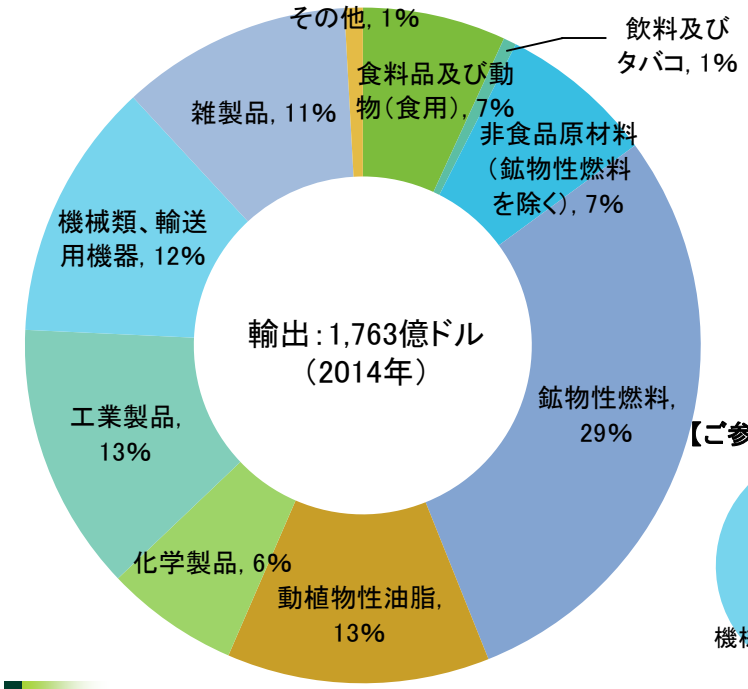
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

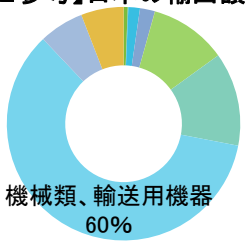
（ご参考）貿易に関するデータ

Information Only

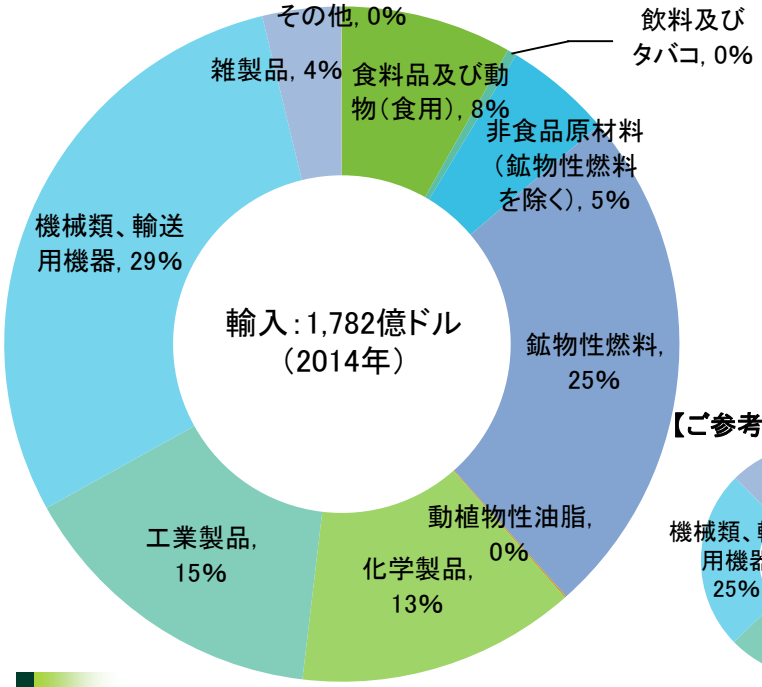
品目別輸出額割合（2014年）



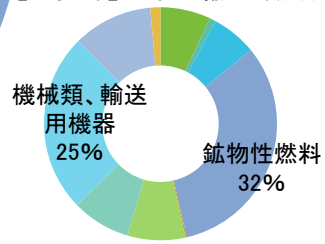
【ご参考】日本の輸出額割合



品目別輸入額割合（2014年）



【ご参考】日本の輸入額割合



輸出額上位品目（2015年）

HSコード	品目	割合
151190	パーム油及びその分別物	7.32%
270119	その他石炭	4.24%
271111	液化天然ガス	4.18%
270112	歴青炭	4.09%
270900	石油および歴青油（原油に限る）	3.67%
151110	パーム油粗油	2.49%
400122	技術的格付けをした天然ゴム	2.03%
260300	銅鉱（精鉱を含む）	1.86%

輸入額上位品目（2015年）

HSコード	品目	割合
271011	軽質油	6.42%
270900	石油および歴青油（原油に限る）	5.65%
271019	石油及び歴青油（原油を除く）	3.39%
100190	小麦（デュラム小麦以外）	1.43%
851712	携帯電話	1.30%
230400	大豆油かす	1.27%
851770	電話部分品	1.02%
170111	甘蔗糖	0.86%

（出所）インドネシア中央統計庁「Statistical Yearbook of Indonesia 2015」、IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

主要経済指標

Information Only

主要経済指標

		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
GDP	名目GDP（億ドル）	5,775	7,553	8,926	9,190	9,146	8,906	8,590
	実質GDP成長率（%）	4.7	6.4	6.2	6.0	5.6	5.0	4.8
	1人当たりGDP（ドル）	2,465	3,178	3,689	3,745	3,676	3,532	3,362
国際収支指標	経常収支（億ドル）	106	53	17	▲244	▲291	▲275	▲178
	経常収支対GDP比（%）	1.8	0.7	0.2	▲2.7	▲3.2	▲3.1	▲2.1
	貿易収支（億ドル）	259	228	237	▲25	▲37	▲18	77
	輸出	1,196	1,581	2,006	1,885	1,827	1,763	1,504
	輸入	938	1,353	1,769	1,910	1,864	1,782	1,427
	外貨準備（億ドル、年末）	636	929	1,065	1,088	964	1,088	1,033
	対外債務残高（億ドル、年末）	1,729	2,024	2,254	2,524	2,661	2,939	3,107
景気指標	失業率（%）	7.9	7.1	6.6	6.1	6.3	5.9	6.2
	消費者物価上昇率（%）	5.0	5.1	5.3	4.0	6.4	6.4	6.4
	国内自動車販売台数（万台）	48.4	76.5	89.4	111.6	123.0	120.8	101.3
財政・金融指標	基準金利（%、年末）	6.50	6.50	6.00	5.75	7.50	7.75	7.50
為替・株	為替レート（対ドル、年平均）	10,390	9,090	8,770	9,387	10,461	11,865	13,389
	株価指数（年末）	2,534	3,704	3,822	4,317	4,274	5,227	4,593

（出所）IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」、IMF「International Financial Statistics 2016年版」、CEIC、インドネシア自動車工業会ウェブサイト

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

ASEAN地域の市場

Information Only

◆ ASEAN10カ国の人口合計：約6.3億人、名目GDPの合計：約2.4兆ドル。

◆ インドネシアはASEAN10カ国の中で人口、名目GDPともに1位。

（2015年）

国（地域）	名目GDP	1人当たりGDP	人　口	実質GDP成長率	日系企業進出拠点数（注1）	貿易額	法定最低賃金（月額・首都圏）	賃金水準 作業員・一般工職（月額・首都圏）（注）
インドネシア	8,590億ドル	3,362ドル	25,546万人	4.8%	1,766拠点	輸出：1,504億ドル 輸入：1,427億ドル	214ドル	252ドル
タイ	3,953億ドル	5,742ドル	6,884万人	2.8%	1,641拠点	輸出：2,110億ドル 輸入：2,019億ドル	218ドル ※24日/月で計算	363ドル
マレーシア	2,962億ドル	9,557ドル	3,100万人	5.0%	1,347拠点	輸出：1,999億ドル 輸入：1,760億ドル	254ドル	418ドル
シンガポール	2,927億ドル	52,888ドル	554万人	2.0%	779拠点	輸出：3,466億ドル 輸入：2,967億ドル	なし	1,526ドル
フィリピン	2,920億ドル	2,858ドル	10,215万人	5.8%	1,521拠点	輸出：621億ドル（注） 輸入：687億ドル（注）	240ドル ※24日/月で計算	268ドル
ベトナム	1,915億ドル	2,088ドル	9,168万人	6.7%	1,452拠点	輸出：1,621億ドル 輸入：1,628億ドル	146ドル ※ハノイの場合	173ドル
ミャンマー	670億ドル	1,292ドル	5,185万人	7.0%	259拠点	輸出：110億ドル（注） 輸入：162億ドル（注）	n.a.	127ドル
ブルネイ	118億ドル	28,237ドル	42万人	▲ 0.2%	10拠点	輸出：121億ドル（注） 輸入：61億ドル（注）	n.a.	n.a.
カンボジア	182億ドル	1,168ドル	1,554万人	6.9%	182拠点	輸出：108億ドル（注） 輸入：135億ドル（注）	128ドル	113ドル
ラオス	125億ドル	1,779ドル	703万人	7.0%	114拠点	輸出：27億ドル（注） 輸入：33億ドル（注）	77ドル	111ドル

（出所）ジェトロウェブサイト、IMF「World Economic Outlook 2016年4月版」、世界銀行「世界開発指標（WDI）」、外務省「インドネシア共和国」
（注）2014年の値。

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.

Information Only

重要事項及びお問合せ先

- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものです。特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームに関する申し出や勧誘を意図したものではなく、また特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームの提供をお約束するものでもありません。

- 本資料は一般に信頼できると思われるデータに基づき作成しておりますが、その信憑性・正確性を保証するものではありません。本資料の利用に関してはお客さまご自身でご判断下さいますようお願い致します。

- 本資料記載の情報は、今後の経済情勢・マーケット動向等の変化により、内容に変更が生じる場合があります。また、本資料に記載する見解や評価は記載時点でのもので、将来の変動を正確に予想することも困難です。最終的にはお客さまの相場観に基づいてご判断下さいますようお願い致します。なお、本資料に金融商品・サービス等の記載がある場合、当該金融商品・サービス等はお客さまに適切なものであるとは限りません。

- 本資料記載の情報に関する会計・税務・法務面の問題点の有無につきましては、会計士・税理士・弁護士等の専門家と十分にご相談下さいますようお願い致します。

- 本資料はお客さまの参考資料の目的でのみご利用いただきたく、お客さま及びお客さま担当会計士・税理士・弁護士等の専門家以外の法人・個人に対して本資料の全部もしくは一部を引用、複写、転送、開示されることはご遠慮いただきますようお願い致します。

本資料についてのご照会は、

お取引店までお問い合わせください。

SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Copyright © 2016 Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.